

第11回 中塚医学賞に学会派遣支援、女性研究者研究費支援を受けた研究者が選ばれました

眼科学講座 中野聡子先生

2021年11月8日(月)、第11回中塚医学賞(大分大学医学部研究者表彰)の表彰式及び受賞者セミナーが行われました。中塚医学賞は、医学部の前身の大分医科大学 中塚正行(初代学長)の名を冠して2011年度に創設された研究表彰です。年1回、大学の開学記念日に合わせて、過去2年間に本学医学部において顕著な研究業績を残した研究者を表彰するものです。

今回は、男女共同参画推進室事業から支援を受けた、眼科学講座 中野聡子先生が、生命科学・医学専門分野に選ばれました。



杉尾医学部長から表彰される
中野聡子先生

■〈受賞コメント〉 眼科学講座 中野聡子先生



今回、大分大学の学術賞である中塚医学賞をいただくことができました。私が入局した当時の中塚眼科教授のお父様、中塚正行初代学長のお名前を冠した賞ですので、絶対に眼科で獲りたい賞でした。私の研究テーマは、新型コロナウイルス感染症で有名になったPCR検査です。眼から得られる検体(前房水・硝子体)は微量で、通常のPCR検査には不向きです。これを改良して、眼科外来で、短時間で簡単に検査ができるキットを開発し、全国44都道府県に普及しています。また、先進医療としても最も高い評価を得て、現在、保険診療化の準備をしています。2018年度春季学会派遣事業、2020年度女性研究者研究費支援事業でも御支援頂き、大変心強かったです。これからも、大分発の新しい検査を全国に広めていくため、頑張りたいと思います。

ダイバーシティ入門書コーナー(FS&DEI)を設置しました

2017年度に、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に採択され、最終年度(2022年度)を迎えるこの機会に、地域の方、高校生、学生などに、広くダイバーシティ関連の書籍を手にとって頂こうと、設置いたしました。ただし今は、感染症拡大防止対策として図書館の利用が制限されていて、ちょっと残念ですが仕方ありません。まだ冊数が少なく書架が寂しいですが、今後も拡充していく予定です。

いろいろと進めてきた事業があちこちで芽吹いて成長し続けてくれますようにと、祈るような気持ちです。この入門書コーナーもその一つです。皆様も機会がありましたら、ぜひ図書館でご覧になってください。(2022.1設置)



Female Scientists (女性科学者)
Diversity, Equity, and Inclusion
(多様性・公平・包摂)



設置提案者の城戸照子副室長

男女共同参画推進室 渡邊博子副室長が、学長補佐に就任しました

2021年10月より前任の城戸照子先生の後を継ぎ、学長補佐という大役を仰せつかりました。本学では、2010年に男女共同参画推進宣言が策定されて以来、北野正剛学長指揮のもと松浦恵子学長特命補佐を筆頭に、諸制度の構築、教育・研究・就業の場におけるダイバーシティの促進、啓発活動、アンコンシャス・バイアスの払拭と意識改革、ワークライフバランスの推進、地域社会との連携、意思決定段階への参画要請、インクルージョンへの展開などさまざまな取組が行われてきました。まだ道は遠いのかもかもしれませんが、多くの現場の方々のアツイ想いに共鳴し、次の世代に繋いでいけるよう、微力ながらがんばります。皆さまのご理解とご協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。



出前型のダイバーシティ入門講義

大分県立佐伯鶴城高等学校 2021.10.7(木)

大分県立佐伯鶴城高等学校の高校1年生学年保護者集会で、「出前型ダイバーシティ入門講義」を行いました。参加者は男女生徒167名、保護者・教員102名でした。

今年度は、理工学部の女性研究者と、教育学部の女性研究者、理工学部の男性研究者の3名が講義を行いました。この他、昨年好評だった、事前に生徒の皆さんからいただいた質問に回答するQ&Aと、理系女子大学院生2名からの「リケジョ」応援メッセージ動画の放映を行いました。講義後のアンケートでは、「女性研究者の話を直接聞くことができ良かった。」「進路選択を迷っていたが、理系に進みたいと思う。」等の声がありました。



松浦室長、大下副室長が質問に回答



会場の様子



「私が理系を選んだ理由・理系の研究について」
理工学部 大隈ひとみ先生



「理系も文系も・文理融合(学際)領域の研究について」
教育学部 川田菜穂子先生



「いろんな学部的女子学生比率—大学進学と生涯賃金」
理工学部 石川雄一先生

日本文理大学附属高等学校 (佐伯市) 2021.10.20(水)

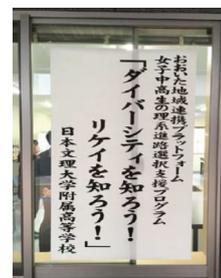
おおいた地域連携プラットフォーム(地域人材創出部会 進学率向上ワーキンググループ)活動、及び大分大学男女共同参画推進室(ダイバーシティ推進本部)の活動として、日本文理大学附属高等学校に於いて、「女子中高生の理系進路選択支援プログラム“ダイバーシティを知ろう!!リケイを知ろう!”」を実施し、普通科特進コース1年生と2年生の33名(女23/男10)、教員3名が参加しました。(※大学等による「おおいた創生」推進協議会と大分高等教育協議会が2021年4月1日に発展的統合を行い、「おおいた地域連携プラットフォーム」になりました。)

本学医学部の女性研究者による「男女共同参画入門」講義動画、理工学部の男性研究者による対面講義の他に、別府大学の研究者と女子学生による実験体験、日本文理大学の研究者と女子大学院生による実験が行われました。

日本文理大学附属高等学校の指導教諭からは、「コロナでずっと体験実験などできなかったが、出前で来ていただき、生徒にとっても良い刺激になり、教育上とてもありがたい」とのコメントをいただきました。



実験の様子



大分県議会政策検討協議会・大分大学生との意見交換会 2021.9.27(月)

大分県庁で開催された「第6回大分県議会政策検討協議会」に、本学学生男女各2名が参加し、「男女が生き生きと暮らせる大分県づくり」について、県議会議員11名との意見交換を行いました。

学生は一人5分の持ち時間で、ジェンダー・ギャップ(男女格差)を身近に感じた経験や、これから社会に出るにあたり、ジェンダー・ギャップ解消の観点から、どういった大分県であってほしいか、またどうすればそれが実現できると考えるか、について各自の意見を発表しました。発表者は、大学院工学研究科2年清水茜さん、教育学研究科1年長野優さん、経済学部4年力武愛野花さんと、4年古椎正暉さんでした。



意見を発表する様子



会議終了後、全員で記念写真



会議に出席した大分大学学生たち

ダイバーシティ入門

後学期全学共通科目授業「ダイバーシティ入門」を開講しました。今年度の授業内容は下の一覧のとおりです。

学内教員の他、あまべ文化研究所、大分工業高等専門学校、大分労働局、大分県消費生活・男女共同参画プラザ(通称:アイネス)、ニッコン(株)、ウーマンメイク(株)からも講師をお招きし、多様な視点からダイバーシティについて学びました。

コロナ禍の影響により、後半で実施するグループワークはすべてオンライン講義となりました。グループを7つに分け、グループ毎にそれぞれ3つの課題のうち一つを担当し、オンライン上でグループ毎に発表資料を作成し、予選会と最終発表を行いました。

予選会と最終発表では、教員、企業の方、外部講師の方、受講生らによる審査を行い、最優秀賞、優秀賞、第3位賞、審査員特別賞(スライド賞)を授与いたしました。今年度は企業等の方々の参加が多く、学生が発表した課題対策について、「非常に効果的な発想。是非当社でも推進したい。」というコメント等もいただきました。



ニッコン(株)
代表取締役社長
佐藤宝恵さん

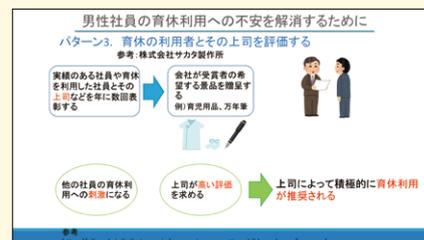


ウーマンメイク(株)
代表取締役社長
平山亜美さん

■ ダイバーシティ入門 最優秀賞はGグループ 代表 経済学部1年 臼井拓朗さんのコメント



本授業のグループワークでは、頼もしいメンバーのおかげで最優秀賞をいただくことができました。苦労したところとしては、直接の話し合いができないことでした。Zoomの場合、同時に話すことができないので話したいときに話せないことがあります。私たちの班は4人と他グループと比較すると少ない人数で進めることができたため、円滑に話し合いが行われました。私たちのグループがこだわった点としては、「自分の得意なことから連想する」ということです。会社の制度というのは、私たち大学生からすると縁のないものです。自分の理解できる分野で置き換えたことで面白いアイデアを生み出し、モチベーションを維持できたのだと考えます。



2021年度 後学期 全学共通科目授業「ダイバーシティ入門」一覧 ※ オンライン Zoom 講義 第1回、第2回、第11回～第15回

日付	授業名	授業講師	日付	授業名	授業講師
1 10月6日	オリエンテーション ダイバーシティ入門	大下晴美(医)	9 12月15日	私のキャリアを通じて伝えられること	ニッコン(株)代表取締役社長 佐藤宝恵
2 10月13日	世界の多様性から学ぶこと	あまべ文化研究所 代表 岩佐礼子	10 12月22日	キャリアを考える	堤 紀子(理工)
3 10月20日	外国人から見た日本のダイバーシティの現状	大分工業高等専門学校 Tomek Ziembra(トメック・ジエンバ)	11 1月5日	グループワーク:(1)オリエンテーション	大下 晴美(医)
4 10月27日	ジェンダー平等の実現とワーク・ライフ・バランス～雇用の分野におけるSDGsの取組～	大分労働局 雇用環境・均等室長 新納広子	12 1月12日	グループワーク:(2)	大下 晴美(医)
5 11月10日	「女性学」と「男性学」	城戸照子(経済)	13 1月19日	グループワーク:(3)	大下 晴美(医)
6 11月24日	経済・経営学的視点からのダイバーシティ	渡邊博子(経済)	14 1月26日	グループ発表(1)予選	大下 晴美(医)
7 12月1日	農業分野でのダイバーシティ	ウーマンメイク(株) 代表取締役社長 平山亜美	15 2月2日	グループ発表(2)最終審査	大下 晴美(医)
8 12月8日	男女共同参画社会に向けた大分県の女性活躍推進の取組	大分県消費生活・男女共同参画プラザ 女性活躍推進監 柴北友美			

(敬称略)

■ 大学院教育学研究科1年 長野優さんのコメント



私は現在、大分大学大学院・教育学研究科に所属しており、来年度には大分県において、高等学校の家庭科の教員になることが決まっています。そのような中で昨年9月、『大分県議会政策検討協議会』に参加させていただきました。「男性」である自分が、「家庭科の教員」を目指してきた中で感じたジェンダー・ギャップを含め、誰もが性別等によって選択肢を狭める必要がなく、就きたい職業に就くことができる大分県であってほしいという願いを県議会議員の方々に伝えさせていただきました。

また今年度は、約半年間にわたり大分県教育委員会が主催する『大分STEAM課題研究特別講座』に学生メンターとして携わらせていただき、私が担当するチームの高校生とともに大分県内における理系分野の選択の状況について、高校生を対象にアンケート調査を実施したり、女性の宇宙関連産業への進出を応援するWebサイトを作成したりしてきました。

様々な取組へ携わらせていただいている一方、それに伴う責任の重さや、自身の未熟さを痛感させられていることも事実です。しかし、だからこそ自身の成長を実感でき、これからの未来に貢献できる機会をいただけていることに感謝しております。

今後も、今の自分に求められていること、そして自分自身がしたいことを、ただ粛々と進めて参ります。

学長が「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」(内閣府男女共同参画局)に参加登録しました 2021.4.1(木)

本学の北野正剛学長は、内閣府男女共同参画局「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」に参加登録しました。大分県では本学北野学長が初の賛同者であり、また、九州地区の大学でも北野学長が初です。

「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」とは、ジェンダー平等と女性活躍を進めていくための「行動宣言」に沿って、参加者同士によるネットワーキングを構築し、それぞれの取組内容や課題を共有し合うことで、企業等の女性活躍を加速するための企業経営者等の集まりです。

「大分大学ダイバーシティ推進行動計画(第1期)」及び、「大分大学における女性活躍推進法に基づく行動計画(第2期)」に基づき、全国各地の様々な業種の男性リーダーとのネットワークを深めながら、上記行動宣言及び本学における女性活躍の取組を公表していきます。

リケジョ応援PR動画を作成しました

中学生、高校生を対象とした、文系、理系の進路選択についてのPR動画を作成しました。本学の女子学生が、理工学部の女性研究者との対話や実際の実験風景を見学し、理系選択について男女関係なく“理系もあり!”という選択肢が広がる動画になっています。今後、各中学校や高校へのリケジョ応援PR動画として活用していきます。

理工学部 堤紀子先生 / 教育学部 高木美貴さん / 理工学部 前田弥香さん ▶



「先輩っ! 理系ってナンですか?」

理工学部 女性研究者による中高生に向けての研究紹介動画を作成しました

理工学部 自然科学コースの小西美穂子先生による、「第二の地球を探して」についての研究紹介動画です。現在本学で活躍されている小西先生の研究内容を紹介することで、より多くの学生が、進路選択を行う際の参考にしてもらえたらと思います。今後、各中学校や高校へのリケジョ応援PR動画として活用していきます。



スライドの一部

地域開放推進事業(Jr.サイエンス事業) 実験動画撮影をしました

本学の社会貢献活動の一環として実施している大学開放事業について、今年も学内で実験動画作成の募集があり、男女共同参画推進室からも「リケジョ応援」として、「中学・高校の女子生徒とその保護者、及び興味のある方」を視聴対象とした、実験動画を作成しました。作成した動画は、本学、Jr.サイエンス事業のホームページに掲載しています。



「藍染め色素を合成して染めよう」撮影の様子
理工学部 平尾翔太郎先生

「大分大学ダイバーシティ11年の歩み」の冊子を作成しました

2010年度に、本学に「女性研究者サポート室」が設置され、その後「男女共同参画推進室」と改名し、今日に至るまでの歴史を、2017年度に採択された、文部科学省科学技術人材育成補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」(2017年度～2022年度)の最終年度を迎えるタイミングで、「大分大学ダイバーシティ11年の歩み」として冊子を作成しました。本誌オリジナル書き下ろしのサイエンス・メモ(科学に関するコラム)も載せています。

